

ト會見シ手當増額ヲ求メタルカ論議ノ結果會社ヨリ同情金トシテ金一封(内容
 金二十圓)ヲ贈與スル旨ヲ述ヘタルニ勞働者側ハ協議ノ要アリトシテ一應引取
 リタリ

(2) 午後四時ヨリ再集資會見シ勞働者側ヨリ尚増額ヲ要求シタルニ會社側ハ豫定ノ
 通り同情金トシテ四十圓宛ヲ支給スル旨ヲ發表シタルヲ以テ勞働者側ニ見レノ
 承諾ニテ辞去シタリ

(3) 被解雇者ノ行動

串議團事務所ニ集合シタル外特異ノ行動ナク十九日集資妥協成立後各自退職手
 當其他ノ金錢ヲ受領シ午后十時解散シタリ

右及申(通)報候也

1922年 10月 10日

社 第 二 四 七 四 號
 昭和四年十月廿一日

丸 山 鶴 志

社 務 大 空 安 達 謙 藏 殿
 社 會 島 島 長 官 殿
 北海五郡大坂伊奈川共済愛知 靜岡
 楊三崎至石麻育縣長官 殿

大島製作所ノ労働争議ニ関スル件(第一報 貴生)

要旨……手業不振ノ爲メ職工ノ賃銀節約四割ヲ値下ケセントシタル爲メ

職工之ニ反對シ十月十六日ヨリ全員(六十名)散業セリ

首題労働争議ノ状況左記ノ通り

記

一 争議發生ノ場所 東京府南葛飾郡大島町七丁目七百六十五番地
 二 手業主 側